

2023（令和5）年3月3日

一般社団法人 全国保健師教育機関協議会  
会員校社員・国家試験担当教員 各位

一般社団法人全国保健師教育機関協議会  
国家試験委員会

### 第109回保健師国家試験問題分析結果について

平素より国家試験委員会の活動にご協力いただき御礼申し上げます。

2月10日～2月17日に実施した第109回保健師国家試験問題内容調査にはたくさんのご回答をお寄せいただきましたこと感謝申し上げます。

皆様のご回答から意見書を作成し、2月22日に厚生労働省医政局看護課に意見書を提出いたしました。提出にあたってはオンラインで直接説明をする機会を設けていただきました。提出した意見書は別途HPに掲載していますのでご参照下さい。

会員校よりいただいた意見を元に国家試験委員会で分析した内容について下記のとおりご報告いたします。上記意見書の内容も含めて一覧としました。過去問題を保健師教育に活用される際や、日々の試験の作問スキル向上および国家試験投稿問題作成にご活用下さい。なお、国家試験委員会では随時研修会のご依頼を受けております。小規模グループからのご依頼でも結構です。よろしくお願いたします。

資料1に第109回正答とタキノミー一覧表を、資料2に第109回タキノミー分析および経年推移を示しました。正答表はあくまで本委員会検討結果であり厚生労働省による正答と異なる場合もあるということをご理解の上ご活用下さい。

### 記

#### I 設問別の検討

【午前】 註：厚労省への指摘欄にコメントがあるものは意見書に記載したもの

問題番号	厚労省への指摘	分析内容
2	改善必要	自治会は生徒会や学生自治会もあり地域組織の名称とは限らない。午前46の設問がヒントになっている。一般の方でも回答可能である。
4		看護師国家試験のレベルである。
5	改善必要	正答が明らか。設問に「未受診者への受診勧奨」とあり「未受診者」と「保健師」が含まれる肢が正答である。選択肢の表現に改善を要する。
9		看護師国家試験のレベルである。
10	改善必要	インフルエンザ以外は小児科定点であり母集団が異なる。数を比較する場合は同じ母数からの出題を望む。
12	複数正答	正答が3つある。選択肢2、3、4が正答である。 ＜理由＞選択肢2：年に1回の提出を求めるが、必ずしも提出を求めるものではないと理解すると不正解となる。選択肢3：幼稚園用、小学生用、中学・高校用の3つ（特別支援を含むと4つ）あるが、確かに小学生用と、中学・高校用は2つに分かれているため正答と捉えられる。 選択肢4：ここに挙げた疾患の児童生徒に使用するため正答である。

16		一般の方でも回答可能である。保健師教育の成果を問う設問を望む。
17		看護師国家試験のレベルである。
18		看護師国家試験のレベルである。
20	正答なし	選択肢 1～4 は誤答が明らか。選択肢 4 は令和元年改正の児童虐待防止法の記載である。
27		看護師国家試験のレベルである。
28	使用する文言に留意	出題基準に相対頻度とあり、それに沿った出題であるが、テキストのほとんどが「相対度数」を採用している。出題基準の用語の変更を検討されたい。
30		保健師教育においては、「生態学的研究」ではなく「地域相関研究」の方が一般的である。
31	使用する文言に留意	「政令指定都市」は法律の条文に則り「指定都市」が望ましい。
32		一般の方でも回答可能である。
35		看護師国家試験のレベルである。
40		計算問題として簡単すぎる。
43	改善必要	適切なのはどれかであるが、選択肢はいずれも不適切とはいえない
44	改善必要	第 102 回出題から状況設定が追加されているのは評価しているが、44 は選択肢 2 が変更になったのみで正答肢も同じ、45 は文言も正答肢も全く同じであり追加された状況設定が活かされていない。再使用問題の扱いの際には工夫願いたい。
45		
46		
53		看護師国家試験のレベルである。
54	複数正答	正答が 2 つある。選択肢 2 と 4 が正答である。＜理由＞設問文の「保健師が確認する情報で優先度が高い」を考える情報が不足している。「転ぶ」「むせる」はいずれも生命に関わる健康課題であり、いずれかを選ぶための情報が不足しているため、受験生は、選択肢 2 と選択肢 4 のどちらか 1 つを正答とすることができない。
54	使用する文言に留意	選択肢 2 は午後 40 選択肢 3 の「日常生活動作〈ADL〉」と同様に「A さんの日常生活動作〈ADL〉」とし、表現を合わせることを望ましい。

【午後】 註：厚労省への指摘欄にコメントがあるものは意見書に記載したもの

問題番号	厚労省への指摘	分析内容
19	使用する文言に留意	選択肢 1 は調査項目の 3 階級をまとめて「割合が最も高い」としているのは不自然である。
21	使用する文言に留意	選択肢 2 が「20 歳未満の傷病」と「20 歳未満の障害者」の 2 通りの意味に読み取れる。
22		看護師国家試験のレベルである。 選択肢 1 は「利用の申し立てを社協にする」と「利用の申し立てをするのが社協である」の 2 つの意味に取れる。
36		最も有用な情報は 2 と考えるが、1 と 3 も不適切とは断言できず、「最も適切なのはどれか」と問う方がよい。
43	複数正答	正答が 2 つある。正答肢 2 と 4 が正答である。＜理由＞選択肢 2 は「母親に寄り添う言葉」と「母親の理解不足を指摘する」の 2 通りの解釈ができ、正

		答にも誤答にもなる。選択肢4は「現時点では早急」と「今後に向けて適切な情報提供」の2通りの解釈ができる。正答と思われる2で後者の解釈をした場合は4を選択する可能性がある。
50	複数正答	正答が複数ある。1と4が正答である。 〈理由〉教科書や資料から1と4の両方を正答と判断することができる。また実習等での学びから事例の状況を的確にとらえると4を選択すると考える。
54		通告という言葉で回答に直結してしまう。

## II 良問について

良問について次の視点で意見を募ったところ特に下記の問題についてコメントがあった。

- ① 出題基準に沿い、新しい切り口である。
- ② 保健師養成課程卒業時に必要な知識と技術に関する問題である。
- ③ 実習・演習経験によって判断することが出来る問題である。
- ④ 難易度が適切である(よく学習した者は正答を学習が浅いと誤答を選ぶ)
- ⑤ グラフ・データ・画像など文章以外の情報によつて的確な判断ができる

問題番号	理由	コメント
AM26	②④	選択肢の切り口が新しく、どれも公衆衛生看護管理上の課題である。
PM6	②③④	実習・演習経験によって判断できる良問である。
PM25	①⑤	医療費受給者証発行数の多い疾患に関する知識と、各疾患の特徴を組み合わせて正答を導き出す問題であり良問だと考える。
PM31	②	要保護児童対策地域協議会については、卒業時に必要な知識である。
PM42	①②④	卒業時に必要な学校保健に関する知識を問う問題である。

## III. 全体について

### 1. 難易度について

第109回のタキソノミーは、Ⅰ：58問(52.8%)、Ⅰ'：12問(19.1%)、Ⅱ：18問(16.3%)、Ⅲ：13問(11.8%)であった。タキソノミーⅢの割合が増加し、保健師としての思考や判断を問う設問の増加は評価したい。一方で、タキソノミーⅠとⅠ'を合わせた割合は71.9%と高かった。

第103回から第109回のタキソノミー分布の推移を見ると(図1)、第109回ではタキソノミーⅡの割合が大きく低下していた。ⅡとⅢを合わせた割合が第107回までの水準に回復し、さらに増加することを望む。

状況設定問題では、タキソノミーⅢが10問と104回以降で最も高かったことは大いに評価したい。今後はタキソノミーⅡとⅢを合わせた割合が増加することを望む。

### 2. 今後の課題

国家試験問題の質向上には、厚生労働省へ国家試験作問の素材を多くプールするために保健師国家試験問題投稿を多数行うことが有用である。状況設定問題に活用する事例や図表等、設問の一部でも良く、多くの会員校の取り組みに期待する。また、多数の教員が作問のスキルを身に付けることにより、作問技術の高い委員を厚生労働省に送ることにつながる。学生への国家試験対策および将来の国家試験作問の充実に向けて、全保教国家試験委員会では、国家試験作問に関する研修を随時開催するため、ぜひ声を掛けて欲しい。

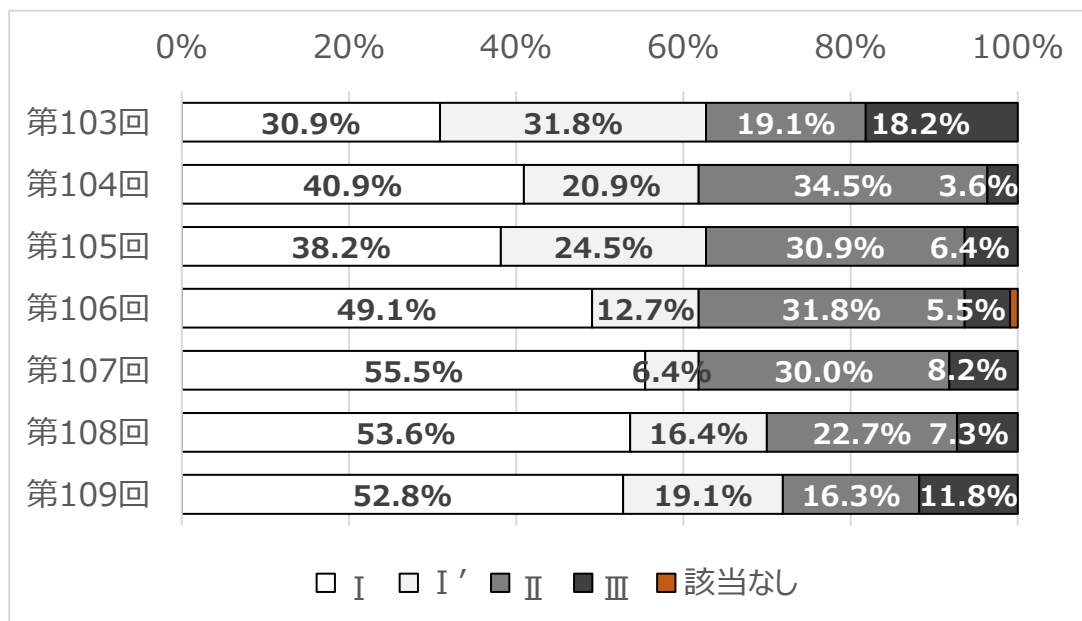


図1 タキシノミー分類の推移（全体）

以上